【教育学科】

担当教員	模擬講義		研究キーワード
	講義テーマ	講義内容	
長田　徹	なぜ学ぶ	生徒が学びの意義やつながりを考える機会となるように努めます。	自らの人生を舵取りする力、持続可能な民主的な社会の作り手、内発的な動機付け
加藤　幸男	「理科の指導法」模擬授業「動物のかたちとくらし」	小学校理科の動物教材について、「動物の体の形やつくりは、生きていく環境にうまく適応するようにできている」ということを実物の頭骨や骨格の標本を用いながら講義します。	小学校理科、動物のかたちとくらし、骨格標本
河合 規仁	見る・聴く・つながる、アートが変える教育のカタチ	「正解のない問い」を象徴する一枚の絵を通じ、対話型鑑賞を体験します。美術を「描く」だけでなく、他者の視点に「耳を傾ける」ツールとして捉え直し、多様な個性がつながる瞬間に注目。教育学部で学ぶ、創造的な「学びの場」をデザインする面白さを伝えます。	アート思考、ヴィジュアル・シンキング・ストラテジーズ、対話型鑑賞
上條 晴夫	活動中心の授業づくり	活動中心のワークショップ型授業を模擬授業形式で行います。教科は国語科になります。解説は授業の前後に行います。（オンライン希望）	活動中心の授業、リフレクション
鍛代 敏雄	大学の日本史、東北の日本史など	「日本史概説」や「歴史の見方考え方」、リエゾンゼミで話している内容について、高校生にも理解できるように講話する。なお、探究型の実践例として日本史の調査・研究法について話したい。また、教科書の日本史用語の問題と史料用語の違いに触れたい。	日本史探究
金 彦志	特別支援教育関連全般	DIや特別支援教育の概念や考え方について。発達障害の特性や指導方法・配慮について。疑似体験など	インクルーシブ教育、特別支援教育、発達障害
久保田 佳克	AI時代の英語学習と英語教育	これからの英語教育は、AIを「代行者」ではなく「伴走者」とする力が鍵となります。精度の高い翻訳ツールを使いこなしつつ、最後は自分の心で通じ合う国際英語のスキルを磨き、主体的に世界を広げていきましょう。	AI、国際英語、英語教育・学習
今野 和賀子	教師の仕事と大学での学び	教師の仕事とはどのようなものかについて現場での経験を基に確認した上で、教師に求められる資質・能力や教師になるための道筋、東北福祉大学教育学部を例に挙げながら具体的な大学での学び及び卒業生の声、進路等を紹介する。	教師の仕事、大学での学び、国語の授業づくり
シュミット ケネス	1. Extensive Reading (多読) for Language Learning. 2. Sample Class: English for communication.	1. Extensive Reading (多読) for Language Learning - This lecture helps students understand the need for massive, understandable, engaging input to make significant progress in language learning, and it gives them a chance to talk about some of the books they might read. 2. Sample Class: English for Communication - This is an example of the kind of communication-focused language class they might experience at university.	English、Reading、Communication
菅原 敏彦	「知ること」と「考えるということ」～数楽の世界へ～	「知るということ」と「考えるということ」は、決して無関係なことではありません。 「考えるということ」は、本当のことを「知る」ために考えるという以外ではあり得ません。 最近、「知るということ」とは、外的な情報を（できるだけ多く）取得するということだとしか思われていません。取得するばかりで、自ら考えようとしない傾向があります。 今の世の中も、これからの世の中も心配です・・・・・。本当のことを「知る」ためにも「知ることよりも考えること」を大切にしてほしいです。	よい問いは答えより重要、数学的経験、思考過程
鈴木 敦子	体験してみよう！大学の保育コースの音楽の授業	保育の現場で日々行われている様々な音楽遊びを実践的、体験的に行います	幼児のための歌遊び、乳幼児のための音楽遊び
清宮 敏	ナチスの支配について	ナチスはドイツ国民を暴力で脅したりだましたりして支配していたわけではなく、ドイツ国民自身は自らの欲望を実現するために、進んでナチスに協力していた。	恐怖政治、欲望の充足
庭野 賀津子	特別支援教育について	特別支援教育で扱う範囲の各障害について。特に発達障害について。	特別支援教育、発達障害、聴覚障害
黄 淵熙	発達障害の理解「子どものうそは成長の証である」	発達障害のある児童・生徒が教育の現場では多くいます。その対応には熱意のみではなく、障害に関する知識が必要であることを説明します。具体的に「心の理論」の例として「うそ」を挙げ、自分がうそをつけるようになることは成長の表れであることを解説します。	発達障害、心の理論、特別支援教育
三浦 和美	高校生のための教職課程入門講座	主に小学校教員を目指す高校生に対して教員免許取得までの過程や教員として必要となる資質能力、高校生のうちに取り組んでほしいことなどを講義の写真等も使用しながら解説します。	小学校教員、社会科教育、SDGs実践
水野 康	睡眠の大切さと良い睡眠のための工夫	年代に応じた必要な睡眠時間、睡眠に影響する行動・環境要因、医療機関で診断・治療の必要な睡眠の病気、良い睡眠のための工夫について解説します。	睡眠、生体リズム
山﨑 敦子	「0歳からの人生に関わる仕事−保育者という選択」 「子どもに育てられる仕事−保育者のやりがい」	保育の具体的な仕事とともに、「人の育ち」に深く関わる喜びや責任、その奥深い魅力について、現場でのリアルなエピソードを交えながらお伝えします。子どもの成長の瞬間に立ち会う感動や、悩みながら関わる日々の中で見えてくる保育者としてのやりがいや意味についても、わかりやすく紹介します。	保育、子ども、幼児教育
青木 一則	子どもの創造性・主体性を育む表現活動	幼稚園、保育園における造形表現の意義とポイント	造形表現活動、共主体の保育、保育者養成
石森 真由子	子どもの運動あそびと健康	乳幼児期の運動あそびの重要性や、発達段階に応じた生活習慣の確立と見守る視点について紹介します。	幼児体育・運動あそび、健康・生活習慣、保育者養成と自然保育
伊勢 恵	英語教育における異文化理解	異文化について大人も子どもも楽しめるクイズ形式で挑戦します。日本の当たり前が当たり前ではない世界があることに気づくとともに、異文化に出会ったときのリアクションに着目しながら、より良い人間関係の構築について考えます。	日本の文化、外国の文化、コミュニケーション力
上村 裕樹	教師・保育者の役割	子どもの姿を捉える、子どもの学ぶの姿勢を捉えるといった日常的な関わりの中で必要とされる専門職の役割について考えましょう。そして、一人ひとりの学びの姿に寄り添い、価値ある子どもの学びを支える教師や保育者の個別的な関わりと働きをついて、事例を扱いながら学びましょう。	対話学習、保育・幼児教育、協働学習
大谷 誠一	地理や社会科関係の内容や教師の仕事について	昨年は教師の仕事というテーマで４つの高校で話をしました。教師の魅力や、教師の仕事教師になるにはどのような進路に進めば良いのかを説明しました。	教職、社会科、地理
金井 徹	大学で「教育」を学ぶ	教育の定義や英語訳などの基礎から、大学での学び方、教員免許取得に向けた具体的なカリキュラムまでを網羅した内容です。幼稚園から高校まで、目指す校種ごとに異なる専門性や、教育職員免許法に基づく5つの科目区分について解説。教員養成を主目的としつつ、多様な進路や学びの選択肢を提示する模擬授業です。	教員養成（教職課程）、教員免許、専門性と多様性

熊谷 摩耶	異文化を理解するってなんだろう？	異文化を理解するとは、どういうことなのかをさまざまなキーワードとともに紹介します。例えば、海外に行ったときや、自分の出身とは違う国の文化や習慣に出会ったとき感じるこの違和感は何なのでしょうか。具体例とともにご紹介します。	比較文化学、東西交流史（主に18-19世紀の西欧諸国と中国）、異文化理解、英語教育
佐藤 郷美	道徳をどうとく？	道徳教材についてふれる	道徳科授業
佐藤 恵	伝承童謡マザー・グースと英語教育	英語圏の伝承童謡マザー・グースを通じて、様々な英語表現に親しむと同時に、英語圏の人々の生活文化への理解を深め、さらには中学校・高等学校での英語教材としての活用方法をお話しします。	伝承童謡、マザー・グース、生活文化
杉浦 徹	特別支援教育　コミュニケーション　ものづくり　学校の仕事	身近なテクノロジーで障害のある子ども達の「できる」を増やす。	特別支援教育、支援技術、ものづくり
髙橋 久子	ことばの知識を探る「英語学」の世界	英語の教員免許取得に必要な専門科目の中から「英語学」という科目を取り上げ、大学の授業の一部を体験してもらう。日本語と英語を比較しながら共通点と相違点を観察し、根底にある規則性を考察することで、言語の謎を探求する面白さに触れ、より効果的な英語学習や英語教育についての示唆も得ることができる。	英語、日本語、英語教育
冨樫 進	日本文化史	授業の前半は本学国見キャンパスの施設や教育学部のカリキュラムについての簡単な説明、後半は古典文学などを史料に基づいた東北地方（宮城県、もしくは高校所在地）の歴史・文化に関わる内容の講義。	日本文化、東北地方の歴史、仏教
和 史朗	「みんなもドラえもんになれる！特別支援教育の仕事」	今、通常の学級にも多くの障がいのある子ども達が在籍しています。こうした障がいのある子ども達は「障害があるからできない」と思われがちですが、実は全くそうではありません。例え障がいがあったとしても、適切な支援や指導があれば必ず「できる」子ども達なのです。何かができなくて困っている子ども達に対して、ドラえもんのように４次元ポケットから様々な「できる」ためのツールを提示していろんな問題を解決しちゃおう！	特別支援教育、ドラえもん、アンパンマン
鳩原 潤	①特別支援教育への招待ー聴覚障害教育からー ②聴覚障害教育から考える学びの本質（教育学）	①問い：音が聞こえないの世界は無音？、聞こえの仕組み、体験①指文字で名前を表そう、体験②手話で唄ってみよう、特別支援教育とは、合理的配慮、教師は何をする仕事？②特別支援教育とは、教育とは何か、教育学は何をする学問か、現代の教育課題、教育学の本質、大学での教育学	特別支援教育、合理的配慮、教育学とは
山下 祐一郎	ゲームを使って授業を楽しくする	ゲームを楽しいと感じたことがある人は多いと思います。ゲームには楽しいと感じる要素があります。ゲームの楽しいと感じる要素を学びに活かせば、楽しく学べるのではないでしょうか。	授業デザイン、教育方法
渡会 純一	教師目線で見る音楽の授業のありかた	それぞれの活動に関して、どのようなことを考えて授業を実施しているかを、音楽の授業で解説します。（ピアノ、音楽を流すスピーカーが必要です）例：合奏・合唱指導、鑑賞について、合唱コンクールでいい評価を得る方法、ボディパーカッション、音痴克服など	合奏・合唱指導のありかた、望ましい鑑賞の授業、音痴克服
アイザックソン　ジョナサン	テクノロジーと英語の教育	テクノロジー（スマホやパソコン）を使ってどうやって英語の勉強ができるでしょうか。	テクノロジー
大西 孝志	特別支援教育　　普通って何ですか	特別支援教育の現状、支援を要する子どもの話を演習を含めて説明する。障害のある人をテーマに扱った映画・テレビ番組等を見せる	多様性の尊重、マイノリティ、社会福祉
茂木 成友	聴覚障害児の発達について	聴覚障害が乳幼児期の発達に及ぼす影響と、適切な支援の在り方を解説します。言語獲得や認知発達のプロセスに加え、通常の学級等で学ぶ上で必要な支援等についても紹介します。早期発見、早期介入開始により社会性を育むことで、教育者として必要な指導、支援の手立てを皆さんと共に考察します。	聴覚障害、教育
藤野 敦	未来を創る教育職（社会の変化と教育の関係）	高校生が現在学んでいる教科や教育課程も社会の変化とともに作られてきたもの。教育職に就くことは未来を考え、未来を創ることにつながること。	社会の展望
森山 貴史	「特別支援教育（インクルーシブ教育）とは」、「『普通』って何だろう（発達障害の理解と支援）」、「障害の社会モデルについて考えよう」など	テーマ「『普通』って何だろう」の場合：「周りの人と違う」ことに不安を感じたことはありませんか？本講義では、主に発達障害という視点から、私たちが無意識に引いている「普通」の境界線を問い直します。障害特性による「得意・苦手」の多様性を学び、お互いの違いを認め合える共生社会に必要な「想像力」と「支援」の在り方について、一緒に考えていきましょう。	共生社会、障害の社会モデル、発達障害